

1 新しい視点へ ちょっと立ち止まって 桑原茂夫

資料画像 10 枚

★目標★

今までの課題を振り返ろう

- ◇課題◇ ①第1回～第8回までの課題の答え合わせをしよう
②各単元の漢字をワークで確認しよう

Step 1

いままで作ったノートの答え合わせをする。

- ① 画像を見ながら今までのノートで穴うめした部分を答え合わせする。
※○つけは赤ペンです
※間違っていたものには正しい答えを赤で書く。自分の書いた答えは消さない
※空白になっていたところは赤で正しい答えを書いておく

Step 2

ワークを解く

- ① P 16、19、37、39 Pを解く。
※直接書きこむか、ノートにやる。ノートの場合は問題番号と答えがわかるように書く
- ② 解き終わったら答え合わせをする。間違えたものには正しい答えを赤ペンで書く。

野原はうたう①

☆目標☆

① 詩の中で使われている表現技法を使えるようにする。

② 詩の内容を確認しよう。

③ 詩で使われている表現技法を確認しよう。

④ 詩の中で使われている表現技法を確認しよう。

☆表現技法とは☆

↓ 物語の様子や人物の気持ちを表すとき、表現を工夫することにより印象深く伝えるもの

① 擬人法：人間でないものを人間にたとえて表す方法。

② 倒置法：普通の言い方と言葉の順序を入れかえる方法。

③ 反復法：同じ言葉をくり返す方法。

④ 対句：ミミ言葉の形や意味が対立するように並べる方法。

① 擬人法 例：ひかりを おどこ に くっつけて 考えて書いておよつ。

② 倒置法 例：ひまわりの花が ほほえんだ。

野原はうたう②

① 野原はうたう は動植物を人間にたとえ自然の中に生きたる生物たちを生き生きと表現した詩である。

② 倒置法 例：こんでいこうどこまでも

③ 反復法 例：だかろわしは いつまでも だかろわしは いつまでも

④ 対句 例：おう おう おう おう おう おう おう おう おう おう

⑤ 擬人法 例：おう おう おう おう おう おう おう おう おう おう

花曇りの向こう①

☆目標☆

場面や登場人物の描写に着目して、登場人物の気持ちを読み取り、

作品を四つの場面に分け、それぞれの時・場所・登場人物を確かめよう。

| 場面 | 時 | 場所 | 登場人物 |
|----|---------|---------|-----------|
| 一 | ある日の朝 | おあちゃんの家 | おあちゃん |
| 二 | 登校直後 | 学校の教室 | おあちゃん、川口君 |
| 三 | ある日の授業中 | 学校の体育館 | おあちゃん、山崎君 |
| 四 | ある日の最後 | おあちゃんの家 | おあちゃん、川口君 |

花曇りの向こう②

① 僕の様子や行動・会話を抜き出し、そこに表れた気持ちを考えよう。

② 僕の様子や行動・会話を抜き出し、そこに表れた気持ちを考えよう。

③ 僕の様子や行動・会話を抜き出し、そこに表れた気持ちを考えよう。

④ 僕の様子や行動・会話を抜き出し、そこに表れた気持ちを考えよう。

花曇りの向こう③

☆目標☆

登場人物の気持ちの変化を読み取り、題名にこめられた意味を考えよう。

① 別に行きたくないけど、

② 僕も行くことかな、そう言うんですけど、

③ スーパーにはみんながいる、

④ 僕も行くことかな、そう言うんですけど、

花曇りの向こう④

① 題名にこめられた意味を考えよう。

② 川口君と山崎君の会話から、

③ 川口君と山崎君の会話から、

④ 川口君と山崎君の会話から、

ちょっと立ち止まって①

☆目標文
本文と三つの図の関係に着目しながら、筆者の考えを読み取る。

三つの図や日常生活での事例から、ものの見方についての主張をまとめよう。

アルビンのつば

△図の解説
・白い部分を中心にみると優格が上がる。
・黒い部分に注目すると向き合っている二人の顔が見えてくる。

△日常生活での事例
・橋の方へ歩いていく少女に目が引きつけられると橋や流石の逆のものがある。橋の形に注目しているときはその上を通る人などが背景になる、と述べている。

一瞬のうちには、中心に見るものを決めたり変えたりできる。

ちよこ立ち止まこ 象原茂夫

☆目標文
段落どうしの関係に注意しながら、文章の構成を読み取る。

一 どのような絵や風景が取り上げられているか整理しよう。

A △橋と向き合っている二人の顔
B △若い女性の絵とおばあさんの絵とも見ることの大きな図。
C △化粧台の前に座っている女性の絵にも遠くから見た絵にも見える図。

三 文章の構成を確認し、段落と三つに分けてみよう。

△文章の構成
・序論：課題や主張
・本論：事実・具体例・理由
・結論：主張のまとめ

段落を三つに分けてみよう
序論：1
本論：2, 3, 4, 5
結論：6, 7, 8, 9, 10

ちょっと立ち止まって②

ちよこ立ち止まこ 象原茂夫

☆目標文
本文と三つの図の関係に着目しながら、筆者の考えを読み取る。

三つの図や日常生活での事例から、ものの見方についての主張をまとめよう。

アルビンのつば

△図の解説
・白い部分を中心にみると優格が上がる。
・黒い部分に注目すると向き合っている二人の顔が見えてくる。

△日常生活での事例
・橋の方へ歩いていく少女に目が引きつけられると橋や流石の逆のものがある。橋の形に注目しているときはその上を通る人などが背景になる、と述べている。

一瞬のうちには、中心に見るものを決めたり変えたりできる。

ちょっと立ち止まって④

三 「ものの見方に対する筆者の考え方を十段落目からまとめよう。」

物を見るときは、ひと目見たときの印象に縛られず、他の見方を試すことで、その物の(他の面)に気づき、(新しい)発見の驚きや喜びを味わうことがてきる。

ちょっと立ち止まって③

△日常生活での事例
・遠くから見れば、奇麗な富士山やきれいなビル、近づくにつれ流石の逆のものがある。橋の形に注目しているときはその上を通る人などが背景になる、と述べている。

△図の解説
・若い女性の絵とおばあさんの絵とも見ることの大きな図。
・化粧台の前には座っている女性の絵にも遠くから見た絵にも見える図。

△日常生活での事例
・橋の方へ歩いていく少女に目が引きつけられると橋や流石の逆のものがある。橋の形に注目しているときはその上を通る人などが背景になる、と述べている。

一瞬のうちには、中心に見るものを決めたり変えたりできる。

ちよこ立ち止まこ 象原茂夫

☆目標文
段落どうしの関係に注意しながら、文章の構成を読み取る。

一 どのような絵や風景が取り上げられているか整理しよう。

A △橋と向き合っている二人の顔
B △若い女性の絵とおばあさんの絵とも見ることの大きな図。
C △化粧台の前に座っている女性の絵にも遠くから見た絵にも見える図。

三 文章の構成を確認し、段落と三つに分けてみよう。

△文章の構成
・序論：課題や主張
・本論：事実・具体例・理由
・結論：主張のまとめ

段落を三つに分けてみよう
序論：1
本論：2, 3, 4, 5
結論：6, 7, 8, 9, 10

